

富士商會 東京・神田で地域防災セミナー

近隣住民など約30人が参加

富士商會は2月13日、東京都千代田区のエッサム神田ホール1号館で地域防災セミナーを開催した。当日は工学博士で水害対策に取り組む土屋信行氏を講師に招き、地球温暖化などの影響で多発化・激甚化する台風・豪雨災害を取り上げた。テーマは「あなたは家族・友人を守れますか？防災行動を考える」。共催は神田東紺町会。当日は近隣の住民など約30人が参加した。

富士商會では地域防災 類発化・激甚化が懸念さ 入都。道路、橋梁、下水 啓発活動の一環として、 れることから、工学博士 道、まちづくり、河川事 毎年、地元住民を中心に 業に従事したほか、元江 防災セミナーを実施して 審議役の土屋信行氏を講 戸川区土木部長などを歴 きた。 師に招へい、自然災害へ 任。『首都水没』『水害 特に最近では気候変動な の備えを啓発した。土屋 列島』などの著書があ 氏は1975年に東京都



土屋氏



仲田氏



地域防災セミナーの様子

た台風19号については、災害時の行動マニュアルがなかったことを挙げ、臨機応変の判断力と行動力が大事になると強調した。

グッズ(期限管理サービス付き)を紹介したほか、参加者に対し備蓄品や緊急呼び笛も提供した。

また、閉会あいさつに立った神田東紺町会会長の「今回の防災セミナーについて、参加するたびに啓発されることが多

午後6時15分に始まったセミナーで土屋氏は、これまでわが国を襲ったさまざまな台風と豪雨災害を取り上げた。中でも1947年のカスリーン台風では埼玉県を流れる利根川が決壊、約1900人の犠牲者が発生した。この台風で栗橋地区では一部盛土に避難した

住民に犠牲者がなかったことから、土屋氏は事前避難が功を奏した例として挙げた。

日本でも台風が発生する時代になったと危機感を募らせた。

さらに、近年の自然災害の傾向として、台風が新幹線車両基地が水没し

講演後には司会を務めた富士商會の仲田重明氏が、保険会社が勧める「防災備蓄品」購入サポートサービス」や「防災

「水害は天災ではなく人災」(土屋氏)

い。皆の熱心な意識でこの地域を守っていきたい」との感想を述べた。